

代 表 質 問

市議会代表

門議員

交通環境の変化に対する 取り組みについて

問 平成26年度には北陸新幹線の金沢開業が予定され、中部縦貫自動車道永平寺大野道路の開通は28年度を目指している。これに並行して、国道416号バイパス、勝山インター線の開通も望まれる。

一方、30年度には福井国体が予定されており、これに向けた様々な整備計画が展開されている。これら計画を福井の交通体系の転機と捉え、県全体の中での勝山市の交通体系のあり方を考え、市の発展に結び付けることが重要である。

そのようなか、えちぜん鉄道の高架化案が示された。このことを含め快速運行の設定等、課題と今後の取り組みについて伺う。

答 快速電車の運行については、24年度以降に鉄道事業者と沿線市町において、その手法や時期について検討を進める。

高架化については、県と福井市で協議した結果を受け、今後他の沿線市町にその方向性が示されると思うので、これまでの手法との違いや事業費など、十分内容を聞き、沿線市町一体となって福井駅への乗り入れを実現していきたい。

その他の質問
・特色ある地域づくり事業について
・循環型農業の推進について
・小型除雪車への購入補助制度の創設について

永年勤続優良従業員表彰 における特別賞制度創設

問 勝山商工会議所が永年勤続優良従業員を表彰する際に、30年以上の永年勤続者に対し、特別賞として記念品を交付してはどうか。具体的には、自由に使用できる記念切符を交付し、その費用の一部を助成する制度を創設してはどうかと考えるが、見解を伺う。

答 商工会議所主催の場合、会員である企業のみが対象であること、また、市民でない方も対象になるなど、市から表彰または記念品を贈呈するには課題がある。本来、この制度は雇用主である企業が実施すべきであると認識している。また勤労意欲を高めるためには、表彰制度だけでなく、やりがいのある仕事に従事し、その目的が達成されることや職場環境の充実など、様々な要因が考えられる。

そこで市としては、勤労意欲を高めるための前段階である、雇用の確保につながる施策に重点を置いている。今後とも「ものづくり技術・研究開発支援事業」等の新産業の創造や創業支援に重点を置き実施していきたい。

勝山の活性化を考える会代表

松山議員

第5次勝山市老人福祉計画、介護保険事業計画

問 ①日常生活圏域二丁目調査をどのように反映するのか。
②介護保険施設等の整備計画は、介護予防・日常生活支援総合事業をどのように進めるか。
④第1号被保険者の介護保険料、標準月額5300円の根拠は。

答 ①課題等を圏域ごとに把握し、施策の取り組みに反映している。
②市に指定権限のある地域密着型サービスでは認知症対応型デイサービスの新設について計画している。また、小規模多機能型居宅介護事業所の新設についても検討している。
介護保険施設の整備計画の予定はないが、サービスの充実を図るとともに、国が推進する24時間対応の定期巡回型サービスの二丁目把握を行っていく。

③当該事業の取り組みは見合わせ、現行の事業で関係機関と連携を強化し、充実を図っていく。
④総給付費等の3年間の見込みが81億611万8000円。第1号被保険者の負担割合が21%で約17億228万円必要になる。ここから介護保険料を抑えるための控除分を差し引いて、第1号被保険者の3年間の延べ人数で割った。

その他の質問
・行財政改革について
・環境について
・観光について

教育環境について

問 ①新学習指導要領における生きる力の趣旨が理解されているか。
②中学校武道必修化について、各中学校の選択、指導者と安全対策、施設整備等の状況はどうか。

答 ①学校関係者にはこれまでパンフレットと学習指導要領を配布するとともに、県主催の新教育課程説明会に各学校各教科1名ずつ教員を参加させ、周知徹底を図った。また、市でも説明会の資料を教職員間に提供するとともに、指導主事訪問で指導を行ってきた。

保護者には、保護者会や学校便り等での説明と、文部科学省の保護者用パンフレット等を配布し周知徹底を図ってきた。
②勝山南部中学校と勝山中部中学校は柔道、勝山北部中学校は剣道の授業を実施していく予定。柔道を指導する3名の全員が初段以上の資格を有しており剣道を指導する1名は初段の取得に向けて研修を積んでいる。
安全対策は、準備運動を十分にに行い授業中も安全に配慮しながら活動するよう指導している。用具等は必要な数だけ整っている。